

○職員の皆さんの目線で、次の重要ポイントを☑チェックしましょう。

まず、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染対策（飛沫感染、エアロゾル感染、接触感染）は、インフルエンザ対策（飛沫感染、接触感染）として有効です。

- 1 3密（密集・密接・密閉）を回避している。
- 2 定期的に換気を行っている。
- 3 こまめに手洗いや手指消毒（アルコール製剤：効果あり）を行っている。
なお、共用タオル等は使用していない。
- 4 適度な湿度（50～60％）を保っている。
- 5 効果的な場面ではマスク着用など「咳エチケット」を行っている。
- 6 職員は、必要な個人防護具（PPE）を必要なタイミングで適切に着用できている。
・サージカルマスクは、隙間なく着用（汚染した場合など適宜交換）
（患者等に接触する可能性がある場合） → 手袋とガウン等を使用
- 7 個人防護具（PPE）の脱衣は、適切な場所、手順で衛生的に行っている。
- 8 手指が触れる場所等は、適切に環境消毒を行っている。（アルコール製剤：効果あり）
- 9 インフルエンザに罹患した利用者等は、施設内で個室や同室対応等を行うなど、感染拡大を防ぐ対策を行っている。※利用者等への十分な説明も必要です。
- 10 職員等は健康管理に努めるとともに、体調不安や症状のある場合は、無理せず自宅で療養あるいは必要な受診ができる体制となっている。

※施設内の緊急連絡表を確認しましょう。

※小児、未成年者では、異常行動（急に走り出す、飛び出そうとするなど）を起こすことがあるため配慮が必要です。

- 11 面会をはじめ、施設内の活動は、地域の感染拡大状況や施設内での感染状況を踏まえ、総合的に判断している。
- 12 協力医療機関や嘱託医、かかりつけ医等と連携を強化し、患者へ適切な医療が提供できる体制が整っている。（抗インフルエンザウイルス薬による治療など）
 - ・医療機関① _____ 医師) _____ 緊急連絡先 _____
 - ・医療機関② _____ 医師) _____ 緊急連絡先 _____
 - ・医療機関③ _____ 医師) _____ 緊急連絡先 _____

※まずは、協力医療機関や嘱託医、かかりつけ医等に相談しましょう。

上記の医療機関欄に記載いただき、施設内で予め確認を。

（その他連絡先（協力医等に連絡が取れず判断に迷う場合など））

- ・えひめ救急電話相談#7119（救急車を呼んだ方がいいか、受診した方がいいかなど迷う場合）
連絡先 #7119
- ・愛媛県子ども医療電話相談#8000（子どもの身体の具合が悪くなった場合等）
連絡先 #8000

※緊急時は、ためらわず 119 番通報をしてください。

- 13 インフルエンザワクチンの予防接種による感染予防や重症化予防への効果を踏まえ、かかりつけ医や嘱託医等と相談するなど、接種の検討を行っている。
※また、施設内で感染伝播が発生している場合など、協力医療機関や嘱託医等が、濃厚接触した同室者などの接触状況により、抗インフルエンザウイルス薬の予防投与を考慮される場合があります。